

かがやけ あさひ

校長室だより 5月 2

白い玉と黒い玉



以前から子ども達に話していた心の中の白い玉と黒い玉を箱に入れてみました。白がよい玉で、黒は悪い玉です。白黒でこう決めつけてしまうのはよくないですが、みんなにわかりやすく話すために、今は一応そうしておきます。校長先生も含め、人間はみんな心に白い玉と黒い玉を持っています。白い玉は、人に優しく、また人を助けたり支えたり、人を喜ばせる言葉や行動をすることで、黒い玉は、人を傷付けたり、困らせたり、意地悪な言葉や行動です。そして、白い玉を投げたら、必ず白い玉が

返ってくるし、黒い玉を投げたら必ず黒い玉が返ってくるのです。ここでとても大事なことは、心の中から出した玉の色を私たちは見てから投げているということです。そのことがよいことなのか悪いことなのかを分かっている状態で投げってしまうのです。だから、黒い玉をつかんでしまったら、投げる前に心の中に戻す勇気を是非持ってほしいと思います。以前の児童集会でもみんな真剣に聞いてくれていましたね。その後、校長室前に写真の紙を貼り、箱の中に白い玉と黒い玉を入れてあります。多くの子ども達が見たり、触ったりしてくれていました。今でも反響は大きいようです。これからもふと自分自身に問いかけてくれたらいいですね。



縦割り活動も大成功

今年度最初の縦割り活動がありました。6年生もリーダーとして大活躍してくれましたよ。

まずは出会いの場づくりとして、各色のグループに分かれ、自己紹介とチームの旗づくりを行いました。お互いの顔と名前が覚えられるようなゲームをしながら、自分たちの旗をみんなで作り上げ、一年間仲良く楽しく支えあっていく意識を高めました。これからは運動会や音楽会、そして日々の触れ合いにおいても交流を深め、よい仲間になってほしいと思います。



リーダーの6年生の感想の中で、朝からワクワクした気持ちで、縦割り活動の時間を迎えたこと、みんなが楽しんでくれてうれしかったこと、みんなが元気だとこちらも元気になったこと、とっても今やり切った感がある等々が綴られていました。この雰囲気がとても大切ですね。いい流れが広がっていて、感激です。



人はよい見本を真似て、 学んで育つ 学び合いが

幼稚園では3歳児保育が始まりました。入園当初は親御さんから離れられず常に泣いていた園児、椅子にも座れなかった園児が多数いました。しかし、年長さん・年中さんが優しく言葉をかけてあげたり、助けてあげたりする中で、年中さん、年長さんの言動や姿を見て学び、感じて学び、一学期の終わりには生活リズムもできて、座ってお話を静かに聴けるようになりました。素晴らしい成長がありました。年齢には関係ないですね。集団の力はすごいものがあります。